



水道凍結防止帯(給湯・給水管兼用) (15m・20m)

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

警告 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡するか、または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行 必ず実行していただく「強制」を示します。

禁止 してはいけない「禁止」を示します。

注意 気をつけていただきたい「注意」を示します。

分解禁止 「分解禁止」を示します。

警告

- サーモスタットは必ずヒーターと同一配管に密着させて取付けてください。配管から離すとヒーターの異常加熱事故の原因となります。また、ヒーターに接触させないでください。
- サーモスタットは日光や給湯器等の熱の影響を受けない場所に取付けてください。
- 壁や金属製の板(流し台等)を貫通させる場合はパイプ等で本品を保護してください。
- 電源プラグは必ず漏電ブレーカー(定格感度電流30mA以下)が付いているAC100Vの回路またはコンセントに接続してください。また、テーブルタップ等に接続しないでください。感電や火災の原因となります。
- 電源プラグにほこり等が付着している場合は、乾いた布でよく拭き取ってからコンセントに取付けてください。また、取付後も電源プラグの周囲にほこり等が付着していないか定期的にご確認ください。
- 電源プラグをコンセントから抜いた場合、雨水等が電源プラグにかからないように保護してください。水がかかると絶縁不良や導通不良の原因となります。
- コンセントが屋外にある場合は、プラグが雨等で濡れない場所に設置してください。
- 凍結シーズン以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、凍結シーズン中に長期不在になる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、水道配管の水抜きをして凍結を防止してください。絶縁劣化した場合、感電や漏電の原因となります。
- 自然災害の後は異常がないか点検をしてください。

- 隠蔽配管やコンクリート埋込等保守点検、および交換できない場所には本品を取付けしないでください。本品が故障しても点検できないため、火災や凍結の原因となります。
- 通電しながら本品の取付けはしないでください。
- 本品を切る、傷付ける、衝撃を加える、引っ張る、ねじめることはしないでください。感電や火災の原因となります。
- ヒーター同士を重ねたり、接触させないでください。接触した箇所の温度が異常に上昇することでヒーターが溶けたり、火災の原因となります。
- 水中での使用はしないでください。絶縁不良・漏電・火災の原因となります。
- 樹脂管(塩ビ管等)には使用しないでください。樹脂管(塩ビ管等)および本品が破損する恐れがあります。
- 電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグは完全にコンセントに差込み、電源コードが引っ張られた状態で使用しないでください。
- 使用環境が-20℃以下、または使用流体が80℃以上になる配管には使用しないでください。

分解禁止 分解・改造・修理をしないでください。故障や事故の原因となります。

注意

- 本品に油や化学薬品等がかからないようにしてください。
- 使用状況や環境により異なりますが、本品は約10年を目安に交換してください。
- 異常加熱や凍結等の事故を防ぐために、系統・配管径・配管材質・保温材材質・保温材厚・配管内流動・その他の環境や条件等が変化した場合は、条件に応じた器具の再選定を行ってください。
- 凍結シーズン前に異常がないか点検を行ってください。ヒーターと保温材の劣化の恐れがあります。また、必ず定期的に漏電ブレーカーの動作をご確認ください。

- サーモスタット部・電源コード接続部・端末部は強く押ししたり、衝撃を加えたり、曲げたりしないでください。
- 電源プラグをコンセントに取付けた状態で水道配管の水抜きをしないでください。
- 可燃ガス雰囲気や腐食性ガス雰囲気等の危険な場所で本品を使用しないでください。
- 水道凍結防止の目的以外には使用しないでください。また、給水配管・給湯配管以外には使用しないでください。
- 一度使用して取外した本品は再使用しないでください。

特長

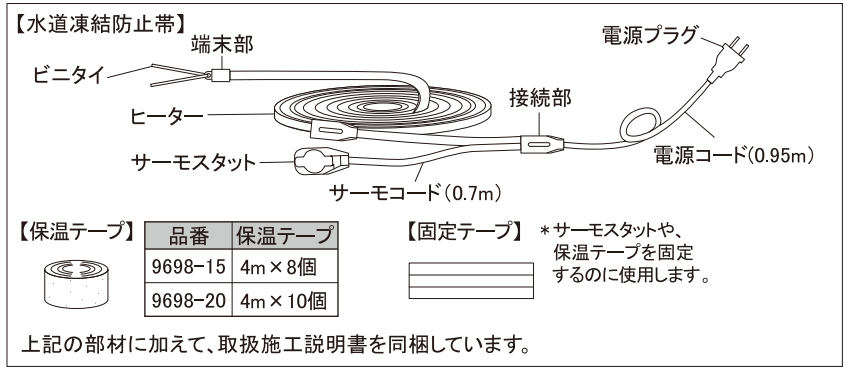
- 15A以上の金属水道配管用の凍結防止ヒーターです。
- サーモスタットの働きで配管の温度が約3℃になると通電します。通電後、配管の温度が約10℃になると通電を停止します。

製品仕様

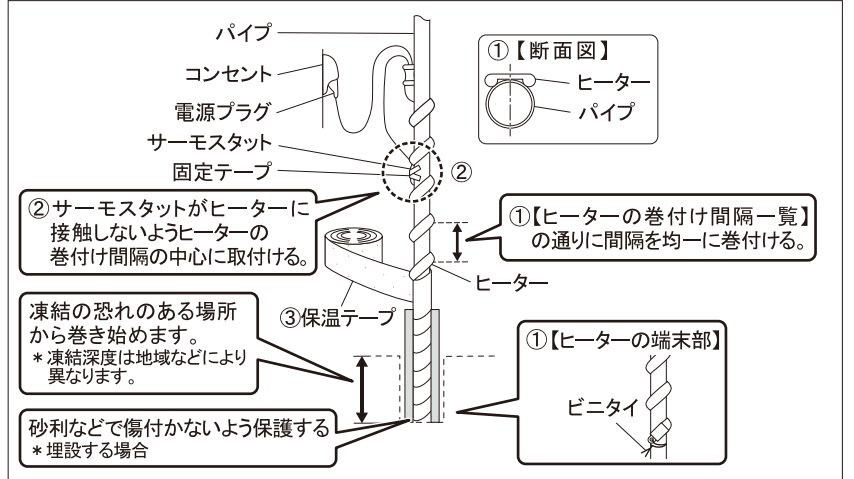
品番	ヒーターの長さ	サーモスタット	定格電圧	消費電力	材質
9698-15	15m	バイメタル式	100V	188W	PVC, PE
9698-20	20m	バイメタル式	100V	250W	PVC, PE

製品同梱明細・各部のなまえ

施工前に、下記の同梱部材がそろっていることをご確認ください。



施工方法



①ヒーターの端末部はビニタイで固定し、ヒーターのくぼみがパイプ側になるように、ヒーターをパイプ・水栓に巻付けます。
*巻付け間隔は下記の表【ヒーターの巻付け間隔一覧】をご確認ください。

必ず実行	巻付け間隔
●適正な長さのヒーターを選択してください。	○
●必ず巻付け間隔が均一になるように巻付けてください。	×
●ヒーター同士を重ねたり、接触させないでください。接触した箇所の温度が異常に上昇することでヒーターが溶けたり、火災の原因となります。ヒーターが余った場合、無理に巻付けずにヒーター全体が適正かつ均一な巻付け間隔になるように取付け直してください。	×

②サーモスタットをパイプに固定テープで固定します。

注意 ●サーモスタットは必ずヒーターと同一配管に密着させて取付けてください。配管から離すとヒーターの異常加熱事故の原因となります。また、ヒーターに接触させないでください。
●サーモスタットは日光や給湯器等の熱の影響を受けない場所に取付けてください。

③保温テープはヒーターとサーモスタットを覆うように、テープ幅の1/2が重なるように巻きます。保温テープは格子模様のある光沢面を外側、発泡面を内側にします。保温テープの巻始めと巻終わりには固定テープで固定します。
*保温テープが足りない場合は、保温テープ(給湯・給水管兼用)【698-000:別売】をお買い求めください。
*メンテナンスの際にサーモスタットの位置が確認できるように、保温材の表面にラベルなどを貼付することを推奨致します。
④電源プラグをコンセントに差込みます。

注意 ●電源プラグをコンセントから抜いた場合、雨水等が電源プラグにかからないように保護してください。水がかかると絶縁不良や導通不良の原因となります。
●施工後に通電確認を行ってください。

【ヒーターの巻付け間隔一覧】 ヒーター必要長さ: 配管1m毎に必要なヒーターの長さ

パイプ径	外気温	巻付け間隔 (mm)	ヒーター必要長さ (m)	パイプ径	外気温	巻付け間隔 (mm)	ヒーター必要長さ (m)
15A	-10℃	417	1.01	40A	-10℃	85	2.05
	-15℃	75	1.35		-15℃	60	2.73
	-20℃	50	1.69		-20℃	47	3.42
20A	-10℃	120	1.23	50A	-10℃	83	2.51
	-15℃	66	1.63		-15℃	60	3.34
	-20℃	48	2.04		-20℃	47	4.18
25A	-10℃	97	1.49				
	-15℃	62	1.98				
	-20℃	47	2.48				



本 社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

0823DN

M-E1701F

無断転載・複写を禁ず